

令和5年度 活動内容

比江環境保全の会

当比江地区は、領石川から取水する「黒土堰井水」に頼ってきた地域ですが、この水系は水が細く水量が豊かではない水系であります。

干害と水不足により、明治20年隣接の久礼田地区と協議を重ね、23年11月より3ケ年の歳月を経て、25年末にやっと完成した「鯛ノ骨溜め池（通称向いの池）」があります。

干ばつの折には、干害と水不足による、両部落の間で水争いが絶えなかったことも想像でき、争うだけではなく協議し共存に向けて粘り強い努力を今も続けて、領石川西岸の岡越方面15ha余り（現在サニーマート総合物流センター等建設にて農地は減少している）と、比江地区の上段の18haの「命水」として利用してきた経緯があります。

そのような歴史を今も踏襲して、久礼田・比江地区から人選を行い、溜池の周辺の草刈りをはじめ、久礼田より比江に通じる用水路の泥上げ、改修等を行っております。

また、昭和の時代には、あまりにも参加者が多く、一家族1名に限定して作業を行ったなど、今も語り草となっております。

令和の時代になり、農業従事者が高齢になってしまい、他の地区同様に農業者以外の住民に協力を仰ぎ、特に夏場は高温多湿の環境下において、蚊・蛇をはじめ熱中症に注意を払い、草刈りは早朝より涼しい時間帯に行い、こまめに水分補給を行うよう心がけております。

また、刈り取った草は放置せず、適切に処理することで雑草の再発を防ぐとともに、草刈り機のブレードは頻繁にチェックし、切れ味を確保することに努めるなど、夏場の草刈り・泥上げ及び運搬等、地区の環境保全の作業を何とか継続しております。